

## 会 議 録

1 附属機関等の会議の名称 平成30年度第1回美里町生活支援体制整備協議会

2 開催日時 平成30年6月29日(金)午前10時から午前11時30分まで

3 開催場所 駅東地域交流センター 大会議室

4 会議に出席した者

(1) 委員 小野俊次会長、佐藤美佳副会長、角田フミコ委員、伊藤秀司委員、  
佐々木義夫委員

(2) 事務局 渡辺克也、相原浩子、横山太一、伊藤博人、菅井晶、浅野恵美、  
永沼威雄、高橋ゆかり

(3) その他 宮城県保健福祉部長寿社会政策課介護保険推進班 主事 及川明彦 氏  
宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議事務局長 及川一之 氏

5 議題及び会議の公開・非公開の別

議題

(1) 報告

平成29年度第4回協議会・美里町生活支援体制整備協議会啓発事業について

「支え合い情報紙 おげんきですか。第3号」について

平成29年度生活支援コーディネーターの活動内容について

平成30年度地区社協連絡協議会・町民福祉講座 開催の報告について

(2) 協議事項

平成29年度の評価と今後の方向性(ビジョン)について

平成30年度の年間計画(案)について

日常生活圏域(1~5層)のイメージ共有(グループワーク)

会議の公開・非公開の別

公開

6 非公開の理由

7 傍聴人の人数

0人

8 会議資料

別紙のとおり

9 会議の概要

(1) 議題の審議結果又は今後の対応

- ・私のまちの支え合い情報紙「おげんきですか。」の発行や生活支援体制整備協議会啓発事業「お茶っこ会だよ！全員集合！！～私の地域の支え合い活動～」を通し、地域住民へ支え合いの重要性について啓発できた。しかし、今後も啓発し続ける必要がある。「地域づくり」は長期的な関わりが必要であり、時間も必要であるため焦らず地域の実情に合わせて進めていく。
- ・第7期介護保険事業計画と整合性をとりつつ「だれもが生き生きと暮らせる健やかで安心なまちづくり」を大きな方向性とし、今後3年間取り組み、その後は地域の状況や進捗状況により検討することを事務局から提案し承諾いただく。
- ・生活支援体制整備啓発事業については今年度も実施し、より多くの地域住民へ周知参加してもらえよう工夫する。
- ・昨年度は集いの場でもお茶飲み会を取り上げたが、今年度は「介護予防」にもスポットを当て啓発していくことを事務局から提案し承諾をいただく。介護予防推進地域事業としてラジオ体操DVDの製作・普及啓発を行う。
- ・今後も地域福祉力UP情報交換会などを実施しながら、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、暮らしにくさの共有や地域課題、必要なサービスの把握に努める。
- ・支え合い情報紙「おげんきですか。」の発行を通し、地域活動と支え合いの地域づくりについて啓発する。多職種連携ワーキングや地域連携推進会議等実施し、個別課題や地域課題の解決を試みる体制の整備を検討する。
- ・平成30年度年間計画(案)については、年間計画について事務局から提案し、承諾をいただく。
- ・全体でのグループワークを通し、地域の範囲と支え合いの考え方についてイメージの共有をした。

( 2 ) 詳細な意見

高橋	<p>これより平成 3 0 年度第 1 回美里町生活支援体制整備協議会を開会します。今回は、宮城県保健福祉部長寿社会政策課介護保険推進班の主事及川明彦さん、宮城県社会福祉協議会震災復興地域福祉部宮城県地域支え合い生活支援推進連絡会議事務局の及川一之さんにお越しいただきました。美里町の進捗状況を見ていただき、ご助言やご指導をいただきたいと思います。よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、次第 2 . 開会の挨拶を美里町長寿支援課渡辺克也課長より頂きたいと思います。よろしくをお願いします。</p>
渡辺課長	<p>本日はご多忙のところ、平成 3 0 年度第 1 回目の美里町生活支援体制整備協議会に出席いただき感謝申し上げます。また、日頃から美里町の高齢者福祉制度にご理解とご協力をいただき厚く御礼を申し上げます。</p> <p>美里町では 3 月に美里町高齢者福祉計画第 7 期介護保険事業計画を策定しました。この計画は、高齢者の方が住み慣れた地域でいきいきと自立した生活が送れるよう支援するとともに、高齢者の尊厳が確保され、介護の必要な高齢者とそのご家族が安心できる介護サービスを適切に提供するための整備を行っていきけるよう定めたもので、町としてもこの計画の実現に向けて取り組んでいるところです。</p> <p>本日開催の協議会は、地域資源の発掘、開発、地域のネットワーク構築など、高齢者の生活支援サービスの体制整備に向け、定期的な情報の共有、連携強化の場を設けることで、多様な主体間の情報共有、連携、協働による資源開発を推進することを目的に、平成 2 8 年 4 月に設置しました。委員のみなさま方には、平成 3 2 年 3 月までの 2 年間、委員として改めてお願いしたところです。この事業におきましてはご承知の通り、平成 2 9 年度から事務局を美里町社会福祉協議会に委託し、平成 3 0 年度も引き続きお願いするところでございます。</p> <p>本日は平成 2 9 年度の事業内容を報告し、その後、平成 3 0 年度の年間計画案を協議させていただきたいと思います。委員の皆様から意見をいただき今後の事業等に反映できればと思っています。</p> <p>そして本日は大変お忙しい中、お二人の方にお越しいただいております。ご指導、ご助言をよろしくをお願いします。</p> <p>最後に、本日の会議が有意義な会議となりますようお願い申し上げます。開会に当たりまして、私からの挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいいたします。</p>
高橋	ありがとうございます。次に次第 3 . 委員紹介に入ります。はじめ

	<p>に、本年度は遠田商工会の代表者が、馬場章禎委員から主査経営指導員の遠藤いづみさんに代わりました。本日は業務の都合上、欠席となりましたが、これからよろしく申し上げます。</p> <p>では、本日、初対面の方もおりますので自己紹介を行います。</p>
一同	～自己紹介～
高橋	<p>次第４．美里町生活支援体制整備協議会設置要綱による会長及び副会長の互選について、皆さまにお諮りしたいと思います。</p>
一同	事務局一任
高橋	<p>それでは、昨年度に引き続き会長を小野委員、副会長を佐藤委員にお願いしてよろしいでしょうか。</p>
小野会長	分かりました。
佐藤副会長	よろしく申し上げます。
高橋	署名委員の選出ですが、いかがでしょうか。
一同	事務局一任
高橋	<p>それでは、佐々木委員と佐藤委員にお願いします。続いて次第５．報告に入ります。(１)平成２９年度第４回協議会・美里町生活支援体制整備協議会啓発事業について、本資料２ページをご覧ください。平成２９年度第４回生活支援体制整備協議会についてです。協議事項では、地域資源の発掘について、「おげんきですか。」第２号を例に検討しました。また、「宝物の見える化・見せる化」については、「お茶っこ会だよ！全員集合！！～わたしの地域の支え合い活動～」が協議会終了後に開催されることもあり、当日のタイムスケジュールの確認等を合わせて行いました。</p> <p>平成２９年度美里町生活支援体制整備協議会事業報告として、平成２９年度の振り返りを行いました。支え合い情報紙「おげんきですか。」を２回発行し、「支え合いの地域づくりについて地域の宝物と共に啓発できたのは良かった」という意見が聞かれました。また、一年間の活動や研修を振り返り、「生活支援コーディネーターと協議会の役割については徐々に理解できてきたが、町としての目指す方向性やビジョンが見えない」という意見もありました。</p> <p>続きまして、平成３０年度美里町生活支援体制整備協議会推進についてです。委員の任期は平成２９年度で終了ではあるが、平成３０年度も引き続き同じメンバーで再任いただきたいことを事務局より依頼しました。また、支え合い情報紙「おげんきですか。」は、平成３０年度も４回発行する予定となりました。平成３０年度の運営計画については、６月の第１回協議会時に検討することと致しました。「目的の共</p>

有や目指す方向性について明確にする」という意見が出ました。

今後については、生活支援コーディネーターの業務は、今後も地域のさまざまな集いの場に訪問し、地域資源の把握をすると共に、地域の情報収集も行いながら、平成30年度は地域別基礎情報一覧の作成に取り組んでいくことにしました。

生活支援体制整備協議会の今後としては、大きく四つについて協議し、確認することができました。一つは、支え合い情報紙「おげんきですか。」を通して、支え合いの地域づくりの推進に努めると共に、協議会全体で地域の情報収集に取り組んでいくことです。

二つ目は、「宝物の見せる化・見える化」です。3月の「お茶っこ会だよ！全員集合！！」の開催を通して、参加者から「地域づくりについて、楽しく学ぶことができた」という声が聞かれました。一人ひとりが自分らしく、安心して暮らし続けることができるよう人と人との支え合いの重要性について考える場となったと思います。今後も「宝物の見せる化・見える化」をどう展開していくか、協議会で検討していきたいと思っています。

三つ目の「平成29年度美里町生活支援体制整備協議会事業報告」では、平成29年度の活動を改めて振り返ることができ、協議会と生活支援コーディネーターの役割や「宝物」のイメージが共有できました。協議会の雰囲気もよく、ワイワイガヤガヤと話し合いが進んでおり、「地域が元気になるための話し合いの場」として機能してきたと、委員の間でも実感しています。この雰囲気を大事にし、平成30年度は、目的と方向性を明確にできるよう協議していきたいと思っています。四つ目の平成30年度生活支援体制整備協議会推進についてです。平成30年度は、支え合い情報紙「おげんきですか。」を6月、9月、12月、3月の年4回発行予定とし、引き続き各委員も地域の情報収集に努めていただき、生活支援コーディネーターと共に目的と方向性を明確にし、協働して活動していきたいと思っています。協議会の報告は以上です。

美里町生活支援体制整備協議会の啓発事業が平成29年度第4回協議会の午後から行われました。「おげんきですか。」第3号の1ページ目に紹介しました。第1部では、仙台白百合女子大学の志水田鶴子先生から基調講演をいただき、第2部では委員のみなさんと共に寸劇を演じていただき、反響も良かったです。委員のみなさまの周りでは、反響はいかがでしたか。

角田委員

大崎タイムスにも当日の様子が取り上げられ、周りから「見たよ」

	とたくさん言われました。
高橋	<p>寸劇後のライブトークでは、地域の方々に活動内容を直接話していただくことで、啓発につながったと思います。また、発表者の方々も「モチベーションが上がった」「これからも頑張ろうと思う」といった声が聞かれ、活動の励みにもなったようです。その際に、県社協の及川さんにも第4回の協議会から啓発事業まで一日、お付き合いいただいたのですが感想をお聞かせいただけますか。</p>
及川氏 (県社協)	<p>寸劇が大変素晴らしく、協議会の委員の皆さまの頑張りが伝わってきました。そして雰囲気がとても良かったです。</p> <p>－昨日は蔵王町、昨日は山元町で生活支援体制整備協議体の集まりがあったのですが、みなさんが美里町の「おげんきですか。」情報紙を見て、活動を参考にされていました。無理なさらず、頑張っていたければと思います。</p>
高橋	ありがとうございます。
浅野	「お茶っこ会だよ！全員集合！！」の参加者は何名でしたか。
高橋	<p>参加者は119名でした。私たち自身も楽しみながらイベントに関わることができ、啓発できたのではないかと思います。改めてご協力ありがとうございました。また引き続き、今年度もいろいろと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>報告(2)支え合い情報紙「おげんきですか。」第3号についてです。創刊号と第2号は、編集会議を設け、委員のみなさまの意見を聞かせて頂きました。第3号は6月発行ということで、任期終了後ということがあったため、事務局で進めさせていただきました。その点をご理解いただければと思います。そして今年度の「おげんきですか。」は、方向性がある程度見えてきたため、編集会議は随時開催にしたいと思っています。委員のみなさんそれぞれ、業務や地域での活動がありますので、毎回の開催となると大変な部分もあると思います。編集会議は随時開催でよろしいでしょうか。</p>
一同	はい。よろしいです。
高橋	ありがとうございます。引き続き、よろしくお願いいたします。
浅野	必要に応じて集まっていただくということですよ。
高橋	<p>はい。そうです。編集会議を開催する際にはお声がけします。</p> <p>9月発行予定の「おげんきですか。」の「専門職も一緒に地域づくりに取り組んでいます！」のページでは、シルバー人材センターを紹介します。</p>
伊藤委員	シルバー人材センターは今、とてもいいことをやっていますよ。美

	<p>里町農村環境改善センターの指定管理を担っています。施設をうまく活用しながら、子どもから高齢者まで幅広い世代の交流の場を増やしていこうと、地域ボランティアの協力を得ながらさまざまな企画を立て、開催しているところです。こういった活動を「おげんきですか。」で紹介しようと考えています。</p>
高橋	<p>今後、発行に向けて打合せをよろしく申し上げます。</p>
伊藤委員	<p>はい。よろしく申し上げます。</p> <p>先ほど、「ビジョンが見えない」という話がありましたが、町民の触れ合いの場を、いろいろな形で増やしていくことが大事だと思っています。今後、イベントを通して住民同士の交流の場を増やしていきたいと思いますので、よろしく申し上げます。</p>
高橋	<p>こちらこそ、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、報告（３）平成２９年度生活支援コーディネーターの活動報告をさせていただきます。まず、地域資源の開発に関する業務として、地域のニーズ把握のため、地域住民の集いの場を訪問し、情報収集を行いました。訪問件数３９件です。訪問先の詳細は資料をご覧ください。また、地域資源調査として、生活支援関係団体を７件、訪問しました。訪問先は資料をご覧ください。</p> <p>今年度も引き続き、地域の集いの場や生活支援団体を訪問し、地域資源の調査を行なっていきます。</p>
浅野	<p>補足すると、生活支援体制整備事業としての活動内容は資料のとおりですが、美里町社会福祉協議会の地域福祉活動の中でも幅広く活動しています。この資料内容に限らず活動していますので、ご理解いただければと思います。</p>
高橋	<p>それでは、平成３０年度地区社協連絡協議会・町民福祉講座の開催について、永沼より報告させていただきます。</p>
永沼	<p>地区社協連絡協議会についてです。この連絡協議会は、美里町社会福祉協議会の地域活動の基盤となっている１６の地区社会福祉協議会の会長、副会長が一堂に会し、年２回開催しているもので、今年度１回目を５月３０日に行いました。本日の資料と別刷りで、１６地区社協の平成２９年度の事業報告・決算、平成３０年度の事業計画・予算の資料を付けていますのでご覧ください。</p> <p>事業報告の部分では、各地区社協の活動として、お茶のみ会や健康づくりのスポーツ大会、カラオケ教室、世代間交流などをまとめています。その中でも、生活支援体制整備協議会のような話し合いの場として「地域福祉力UP情報交換会」があり、平成３０年度はすでに３</p>

	<p>会場での開催が決まっていますのでご案内いたします。</p> <p>北浦地区社協は8月27日(月)午後4時、中組集落センターで実施します。9月上旬の午前は中埴地区社協、11月20日(火)午後1時30分には不動堂地区社協でそれぞれ開催を予定しています。体制整備協議会の委員の方々にも案内を差し上げたいと思っておりますので、ご参加のほどよろしく申し上げます。また、そのエリアの行政関係、福祉事業所等にも同じように案内します。当日は行政区ごとに分かれています話し合いを進めて行ければと思っています。</p> <p>続いて「町民福祉講座(地域福祉テーマ)」の開催報告を致します。町民福祉講座は、地区社協連絡協議会、そして「第1回福祉活動推進員合同会議」終了後に行い、住民の方々をはじめ、社協の福祉活動推進員、行政関係、町内の福祉事業所など総勢148名が参加しました。山形市社会福祉協議会の事務局長、長岡芳美様にお越しいただき「地域共生社会の実現に向けて」をテーマに、福祉に関わる住民または専門職、行政機関、社協などの団体がどのように取り組んでいけば良いか、お話をいただきました。山形市社協の活動事例では、地域の中で見守りや声かけなどを中心的に進めている「福祉協力員活動」や、町内会役員、民生委員児童委員、福祉協力員の三者で問題を共有する「三者懇談会」の話がありました。気づいた課題を共有し、解決に向けて話し合う「地区地域福祉推進会議」の紹介もありました。これは、美里町の地域福祉力UP情報交換会と同じようなものだと思います。このほか、「ちょっとした支援」のところでは、雪かきなどがありました。「地域社会の一員として、認め合い・支え合うとは」という部分もあり、生活支援体制整備協議会にととても通じる内容だと思いました。町民福祉講座を終えて、参加者から「良かった」という声をいただきました。山形市と美里町は人口規模も違いますが、地域づくりに向けた思いは同じだと思っています。以上、報告でした。</p>
高橋	ありがとうございます。先ほどもありましたが、地域福祉力UP情報交換会の日程が近くなりましたら案内を差し上げますので、ご出席をよろしく申し上げます。これまでの報告で何か意見ありますか。
一同	なし
伊藤委員	シルバー人材センターで、「地域みまもり隊」のステッカーを業務車両に貼っています。具体的にどういったことをするのか考えていましたが、今日の資料に分かりやすく載っていたのでコピーして職員に配布したいと思います。
浅野	ありがとうございます。「地域みまもり隊」のステッカーの話を補足



	<p>しますと、美里町社協では、町内の事業所と企業などの車両にステッカーを貼っていただき、見守り活動を広めています。住民もお互に見守りはするけれど、専門職なども地域や住民を見守ろうと、ご理解いただいている事業所などにステッカーを配布しています。今年、北浦駅で高校生が具合悪くなり、うずくまっていたら、事業所の車が止まり職員が声を掛けて対処してくれたという報告もありました。</p>
高橋	<p>それでは、次第 6 . 協議事項に入ります。小野会長にお願いします。</p>
小野会長	<p>それでは協議事項に入ります。活発なご意見をいただきながら、議事進行にご協力いただければと思います。6 . 協議事項の(1)平成29年度の評価と今後の方向性(ビジョン)について、事務局よりお願いします。</p>
高橋	<p>それでは、協議事項に入る前に6月8日に仙台市で開かれた「平成30年度 第1回宮城県地域支え合い・生活支援推進会議」に出席した際の会議資料を綴っていますので、ご覧ください。印象的だったところを何点か紹介します。まず、「地域づくりのループ」という部分です。資料の図のように地域の「宝物」を「発見」し、次に「意識化」「見える化」「見せる化」することで地域づくりのループが進みます。昨年度の一年間で地域の宝物を見つけ、支え合い情報紙「おげんきですか。」を通して「見える化」を、3月の「お茶っこ会だよ！全員集合！！」で「見せる化」ができたと思います。</p> <p>この繰り返し地域づくりだと思っていたのですが、講師が「エリアが広がる」という話をされていました。私自身、「エリアが広がる」というイメージを持っていなかったので再発見しました。これを繰り返していくことによって、地域づくりが広がっていくことを改めて学びました。</p> <p>次に「地域づくりの留意点」です。「地域づくりは、時間を必要とする。事業の継続と進展を保障するためには、事業計画、事業の工程表、事業評価などが必要となる。」と書かれています。昨年度の4回目の協議会でもあったように「方向性が見えない」「ビジョンが見えない」という意見があったので、この点を整理しながら、短期、中期、長期それぞれの目標を立て、方向性が見えるようにしていかなければいけないと、事務局でも改めて感じました。それを踏まえて、今後のビジョンや方向性を資料にまとめましたのでご覧ください。</p> <p>平成27年度に美里町生活支援体制整備準備会として発足し、平成29年度まで進んできました。その際にあった協議事項などをまとめています。昨年度の評価としては、宝物を見つけて啓発は行ってきま</p>

	<p>したが、今後も宝物を探しながら、見える化・見せる化していく必要があると感じています。委員の方々の平成29年度の評価として、感想や意見はありますか。</p>
小野会長	<p>今、高橋さんから説明を受けましたが、平成29年度の良かったところや展望など、ご意見ございますか。順調にいらっているようですか。</p>
浅野	<p>生活支援コーディネーターにとっては初めて活動した年度でした。苦労したと思います。委員のみなさんに優しくフォローしていただいたので「もう少しやってみないとな」というところだと思います。</p>
小野会長	<p>私が言うのも何ですが、よくやっているとと思います。私たち委員は常に動いているわけでないので、コーディネーターの高橋さんにはリードしてもらい、自信を持って活動してもらえたらと思っています。みんなで協力するという気持ちは、委員のみなさん、一緒だと思います。</p>
伊藤委員	<p>私は正直、始めは雲をつかむような気持ちで話をしていたのですが、少しずつ形が見えてきたように感じます。「おげんきですか。」が発行され、「行き先が何となく見えてきた」と思います。自分的には行政とタイアップして、農村環境改善センターの施設を使いながら、なお一層、町民のみなさんとのふれあいの場を作っていきたいです。今後の計画も社協と協力し情報共有したいと思っています。</p> <p>せっかくこういった場に来ているので、シルバー人材センターを通して事業計画を提示しながら、「何月にはこういったことをする」と情報を共有したいと思います。そうすると先ほど高橋さんが言った「エリアが広がる」というね。それも一旦じゃないかなと。話を聞きながら思いました。</p>
小野会長	<p>平成30年度の方向性について、事務局より何かありますか。</p>
高橋	<p>今後の方向性について、地域包括支援センターの横山からお話をいただきたいと思います。</p>
横山技術 主査	<p>はい。それでは「平成29年度の評価と今後の方向性（ビジョン）について」と「生活支援体制整備事業における今後の方向性について」の資料をご覧ください。</p> <p>「平成29年度の評価と今後の方向性について」の資料の一番上に「地域共生社会の実現」、「地域包括ケアシステム」、美里町の高齢者福祉計画の理念「高齢者が（だれもが）生き生きと暮らせる健やかで安心なまちづくり」と載せています。一番大きい目標は「地域共生社会の実現」です。高齢者の分野のところ、地域包括ケアシステムをつくるために美里町でどうするかというところの計画の理念が、今お伝</p>

えしたところです。資料「生活支援体制整備事業における今後の方向性について」をご覧ください。「地域共生社会、地域包括ケアシステムは難しそうがよく分からない」という話もよく聞かれますので、資料にまとめました。地域共生社会は高齢者、障害者などの分野の枠を超えて、つながったり、支え合ったりする社会を目指すものとなっています。支え合いの地域づくり、「我が事」「丸ごと」の地域づくりを育む仕組みへの転換をしていきたいと思いますという中身になっています。

住民の方、私たちも含めて住民なのですが、「住民の主體的な支え合いを育み、暮らしに安心感と生きがいを生み出す」ということと「地域の資源を生かし、暮らしと地域社会に豊かさを生み出す」ということが言われています。この「地域共生社会」を目指すために、「地域包括ケアシステム」というものを、高齢者の分野で作っていきましょうと言われているところです。医療、介護、住まい、生活支援、介護予防が包括的に確保される体制をつくろうとしています。

目指していくためにはどうすればいいのか。私の実感として、ここ数年思っていたのが「いつまでも暮らし続けたい美里町はこうだったらいいよね」という話を、みんなでつながって、話し合いを続けていくことからしか、できないのではないかと思っています。以前は、今の協議会のように「こんな仕組みがあったらいいな」とか「こんな町だったらいいよね」と、気軽に集まり、話し合える場がありませんでした。このように話し合える場があるというのは、すごく大事なことだと思います。

資料に「話し合いの場の一つ＝生活支援体制整備協議会＝地域の未来と夢を語る場」と書きました。協議会としては「おげんきですか。」の発行を続け、支え合い活動発表会をまた開催したり、地域の資源を活かすために情報収集したり、各分野の方々がつながる仕組みを検討したり、これらの活動を続けていくことが一番だと思っています。これらを続けながら“美里町版”の地域共生社会、そして地域包括ケアシステムを「美里町の人をつながれる場所ってどうあったらいいかな」とか「つながれる場所がどうやったら生まれるか」など、話し合いを続けていけたらと思っています。その場所があるから、自然にいろいろな人がつながって、社会参加、介護予防、支え合いが生まれる地域づくりをみなさんと一緒に考えていきたいです。

細かいところは、生活支援コーディネーターの高橋さんからお話いただきたいと思います。よろしくお願いします。

高橋

はい。ありがとうございました。

	<p>美里町高齢者福祉計画の第7期介護保険事業計画がこの4月から進んでいます。理念は「高齢者が（だれもが）生き生きと暮らせる健やかで安心なまちづくり」です。これが生活支援体制整備協議会の目指す方向性、ビジョンだと思います。介護保険事業計画にリンクさせながら体制整備事業を進めていきたいと思っています。平成33年度以降については、進捗状況や地域の状況を見ながら検討します。</p>
浅野	<p>補足します。介護保険事業計画の項目「だれもが健康で生活できるための介護予防」のところで、具体的には、美里町オリジナルのラジオ体操のDVDを制作し、行政区や団体などに普及・啓発していきます。それから、今までも行ってきた見守りについては、町民も事業所も併せて強化していきたいと思っています。気軽に「助けて」が言える取り組みをしていき、その身近な「助けて」の声を地域の課題として共有し、連携した策を考えていければと思っています。</p> <p>地域包括支援センターを中心に、地域連携推進会議という組織を新たに作りました。住民にも一緒にやっていただくことを働きかけ、私たちもそれに取り組んでいきたいと思っています。また、社協の事業とも関係しますが、生涯学習やまちづくりの視点からも「人づくり」「地域づくり」「拠点づくり」というところで、介護保険事業計画の項目「住民が社会的役割や生きがいをもってそれぞれの地域で活動できるための、地域活動や住民同士の支え合いについて情報発信や啓発」する部分に取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>また、「地域での住民同士のつながりや住民と介護や医療の事業所とのつながりなどの、支え合いの在り方を考える仕組みの検討」についてです。今、住民の個別課題について相談を受けると「これは地域包括支援センター」「これは障害福祉係」とつないでいますが、どこにもつなげられない課題が多くあります。これをみんなでどう考えていったら良いかということについて、今後、相談の入り口と支援の出口を一緒に考えていただければいいと思っています。</p> <p>生活支援体制整備を進めながら「地域の福祉力」と「専門職の地域力」の両方を向上できたらと思っています。</p>
小野会長	<p>今後の方向性についてお話がありました。質問等ありませんか。</p>
佐々木委員	<p>質問です。事業を促進するために、地域住民向けにイベントを開いて知らせるなど、何か企画していますか。</p>
高橋	<p>はい。昨年度実施したイベント「お茶っこ会だよ！全員集合！！」のような形で考えていました。</p>
佐々木委員	<p>先ほども「輪を広げる」という話がありましたが、参加人数がある</p>

	<p>程度の目安になると思います。130人の次は200人というように、輪を広げてほしい。いつも参加してくれる人は、だいたい同じ人のように感じます。もっと違った人達、特に若い人達が集まれるようなイベントを企画し、少しずつ回数を増やし、みんなに知っていただくというような。そういうことも考えて取り組んでいってほしいと思います。</p>
浅野	<p>はい。社協の地域福祉係で、地区社協や行政区などと一緒に企画する働きかけもできると思います。</p>
小野会長	<p>PRの方法も一つだと思います。魅力的な内容で人を集めるなどの工夫が必要だね。だいたい同じ人が来るというのは、主催者側も見て分かりますよね。当然、地域活動に携わっている人たちが来るわけですから。一般の人に周知するのは難しい。例えば行政区長会で一言紹介するなど、いろいろな集まりの場で周知するのは必要ですね。</p>
佐々木委員	<p>そうですね。行政区長会や婦人会など、さまざまな場での周知も必要ですね。</p>
小野会長	<p>事務局の方でよろしくお願いします。</p>
永沼	<p>社協の事業関係もそうですし、学校関係への出前講座などでも、こういった要素を入れてお話することはできると思います。ぜひ協働して進めたいと思います。</p>
小野会長	<p>それでは、次の「平成30年度の年間計画(案)」に入りたいと思います。高橋さん、よろしくお願いします。</p>
高橋	<p>28ページをご覧ください。年間計画を案として載せています。昨年度は集いの場の中でもお茶飲み会にスポットを当てて進めてきました。今年度は介護予防として、地域で運動などに取り組んでいるところに注目していきたいと思っています。「おげんきですか。」のお宝紹介のページも、運動系の介護予防について紹介したいと思っていました。また、予定表に記載は無いのですが、視察などの研修会を考えています。昨年度は、登米市へ委員のみなさんに行っていました。今年度も県内で考えていましたので、その際には出席をよろしくお願いします。協議会も必要に応じて随時開催していきたいと思っています。よろしいでしょうか。</p>
小野会長	<p>年間計画の案はこれによろしいですか。その時々で話し合っていくということで構いませんか。</p>
一同	<p>意見なし</p>
小野会長	<p>それでは次の「日常生活圏域(1～5層)のイメージ共有(グループワーク)」に入ります。</p>

	<p>グループワーク（25分間）</p> <p>～町全体（1層）から各行政区（5層）の日常生活圏域ごとに、町内関係機関・組織等がどの圏域支援を担っているか共有～</p>
小野会長	<p>終了時間が過ぎてしまいましたが、みなさん、お疲れ様でした。本日は終了でよろしいですか。</p>
高橋	<p>宮城県地域支え合い生活支援推進連絡会議事務局の及川一之さんから、感想を一言いただけますか。</p>
及川氏 (宮城県)	<p>貴重な機会をいただき、ありがとうございます。グループワークを通して第1層から第5層まで見てみましたが、埋まっていない部分については、これから生活支援コーディネーターの高橋さんが動いていくところになると思います。見つかったものは、住民さんを含めて共有していくことがすごく大事だとグループワークを通して改めて感じました。</p> <p>冒頭、伊藤委員が「始めは雲をつかむような気持ちで」と言っていますが、こうしたことを続けていくことで、次のビジョンが見えてくるのかなと。実は県内でも同じことで、体制整備は一つの市町村だけが進めばいいということではなく、市町村それぞれが進んでいくことが必要です。生活支援コーディネーターの養成研修や情報交換会などで情報を共有し、良い事例は他の市町村から引っ張ってきていただければと思います。</p>
一同	<p>ありがとうございました。</p>
小野会長	<p>今日はどうもありがとうございました。それでは閉会の挨拶を佐藤副会長からお願いします。</p>
佐藤副会長	<p>みなさん、大変お疲れさまでした。</p> <p>JAでも訪問介護事業を提供しています。その中で一人暮らしの方、かつ認知症が進行している方がいらっしゃいます。生活時間を聞いても留守でサービスが提供できないという事案が最近大変増えています。その中で助けていただくのが、地域の近所の人達です。その利用者さんの支えでもありますし、私たち事業所も支えてくださる「支え合い」の力が、この美里町の地域に多くあるなど、ありがたく感じているところです。今日、グループワークで5層の掘り起こしが今後の課題と確認できました。今後の協議会でいろいろな情報をますます発信できるようにご協力をお願い致しまして、閉会の挨拶とさせていただきます。今日は大変お疲れ様でした。</p>
一同	<p>ありがとうございました。</p>

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

年 月 日

委員 \_\_\_\_\_

委員 \_\_\_\_\_